

コラム 11

市内河川に持ち込まれた 増殖中の危険な植物(ウチワゼニクサ)

当市には、黒目川や落合川、立野川などの市内のわき水を起源とする中小河川があります。立ち入り制限のない開口部も設けられており、親水公園やいこいの水辺などでは水遊びや魚とりの人で賑わいます。

2018年の夏頃、それら河川での撮影時に気付いたことがありました。チドメグサを大きくしたような植物が目にとまり、カメラに収めました。インターネットで確認すると『ウコギ科ウチワゼニクサ』と判明。水生植物で、原産地はアメリカ南部の湿地や河川と記述されていました。鳥などの生きものが運ぶとは思えないことから、誰かが鑑賞用で購入したものを川へ持ち込んだと思われる。

同じく2018年には、福岡県にある高等学校の自然科学同好会の生徒等がこの植物の繁殖と駆除の研究発表を行っています。同県では、同年4月に作製した「侵略的外来種リスト2018」で「要対策外来種」の一つに位置付けました。

現在、黒目川の下里4丁目付近の親水公園および落合川の大門町2丁目から神宝町1丁目付近、立野川に架かる大沢鉄橋下流部の浅間町1丁目・3丁目付近にて繁茂状態です。結果、周辺部にある在来の水生植物を脅かす事になります。更に、一旦繁殖すると駆除が難しく時間と労力を必要とします。

その他、市内の河川では水生植物で特定外来生物(資料5 生きものの現況 を参照)のオオフサモや要注意外来生物のオオカナダモなども生育範囲を広げています。

皆様へのお願いです。市内河川への植物を含む生きものの持込みは絶対におやめください。



ウチワゼニクサ

左から、黒目川下里4丁目・落合川大門町2丁目・立野川浅間町1丁目で確認したもの